

いばらき 市議会だより

2026年
(令和8年)
No.265

5月号



元茨木川緑地の桜並木【撮影日 令和8年4月2日】

3月（第2回）定例会

令和8年第2回定例会を3月4日から
30日までの27日間の会期で開催しました。

編集 / 議会広報委員会 発行 / 茨木市議会
電話 (072) 620-1670 FAX (072) 623-7591
https://www.city.ibaraki.osaka.jp/shisei_info/gikai/index.html



スマートフォン等で
読み取ることができます。

- Page2
市長の施政方針に
各会派が代表質問
- Page7
市議会のうごき
- Page8
一般会計予算質疑
- Page12
3月定例会議決結果
- Page14
— 可決された意見書
（3月定例会）
— 請願（3月定例会）
— 2月臨時会議決結果
- Page15
議会構成・会派構成

市長の施政方針に 各会派が代表質問



3月4日に市長の施政方針の説明が行われました。
(その際、市長の隣で手話通訳が実施されました。)

3月6日、9日に行われた施政方針に対する各会派の代表質問の主な内容は次のとおりです。



左記二次元コードから録画配信をご覧いただけます。

一步の会

米川 勝利 (質問者)
片岡 真 佐藤 恵



現市政10年間の評価と現在地は

問 市長は、就任当初から対話と議論、公平公正を市政運営の基本として掲げ、さまざまな課題に取り組んでこられたが、この10年間でどのように評価しているのか。また、就任当時に描いた10年後の茨木と、今の茨木についてどのように捉えているか。

答 「次なる茨木」実現に向けた施策に取り組む中で得た、市民、学生、事業者の皆さまとの多くの関わりや、新たなまちの担い手の発掘や成長が、まちの活力を生み出していると感じている。「共創」をキーワードに、次代の価値観に対応できる柔軟性等や、今後の発展に向けた期待感が醸成されており、「次なる茨木」への歩みは着実に進んでいると考えている。

ごみ処理の広域化に対する考えは

問 ごみ処理施設の将来的な更新に向けた整備方針の策定

に着手することである。本市の溶融炉は2040年頃に更新時期を迎えるが、今後の人口減少社会を見据え、現在ごみの広域処理を行っている摂津市以外の近隣市とも連携し、広域で処理施設を整備することについて、市の見解は。

答 国は、持続可能なごみの適正な処理を確保するための方策の一つとして、広域化や集約化を推進している。本市としても、今後の社会情勢の変化やごみ処理の現状を踏まえつつ、ごみ焼却方式や広域化を含め検討を進める必要があると考えている。



ごみ処理施設 環境衛生センター (東野々宮町)

広く市民の意見聴取を

問 本来、広聴は一部の意見を把握するのではなく、多様な市民の声やニーズを主体的に聴

き取り、施策に反映するものである。これは広報広聴が広範な市民と双方方向の関係構築を目指す「パブリックリレーションズ」を意味していることから重要な視点だと考える。広聴の本来の趣旨を鑑み、市民満足度調査やアンケート調査を積極的かつ継続して実施する必要があると考えるが、市の見解は。

答

行政計画策定時に実施する市民意識調査やパブリック

公明党



大村 卓司 (質問者)
北原 正 和田 美紀
松本 泰典 青木 順子

5歳児健診の実施を

問

5歳児健診の必要性をかねて訴えてきたが、こどもの発達について早期に気づきを促し、支援する具体的な取組みにつ

いて、市はどのように考えているのか。5歳児健診の意義と導入について、市の考えは。

答

5歳頃は社会性が発達し、個々の発達の特性が認知されやすい時期であり、健診によりその特性を把握し、必要に応じて適切な支援につなげることで、その後の社会生活への適応がスムーズになることが期待できる。国からの情報に注視しつつ、効果的な5歳児健診の実施に向け、実施体制等の検討を進めている。



部活動地域展開の位置付けは

問

中学校部活動の地域展開に当たり、令和7年度に地域クラブのモデル実施が行われた

が、8年度は実施種目をさらに拡充することである。部活動の地域展開においては、生徒の意思を尊重することが第一義であると考えて。今後、市が責任主体となつて、学校教育の一環として推進していくものと考えてよいか。

答

中学校部活動の地域展開は、これまで学校が担ってきた活動を、学校と地域が連携・協力し、地域活動として展開するものであり、推進における責任主体は本市である。

病院誘致に向けた市長の決意は

問

救急病院の誘致に当たっては、今後、基本整備構想を踏まえつつ、人口構成の変化や地域医療計画の将来的な方向性にも適合する形で、基本協定の締結を実現することが重要であると考えているが、実現に向けた市長の決意は。

答

必要な医療を提供することで市民の皆さまの暮らしを支えるとともに、大学病院が運営する病院のポテンシャルと2コアパークの一翼を担う立地的優位性を生かし、まちの活性化にもつながる病院誘致が実現できるよう、市と事業者候補者である大阪医科薬科大学で構成するプロジェ

クトチームを立ち上げ、令和9年3月の基本協定の締結に向け、進めていく。

地産地消の取組みは

問

農業振興については、持続可能な農環境を整えていくほか、地産地消などの取組みを継続していくことである。本市における地産地消の取組みにはどのようなものがあるか。

答

学校給食へ地元産の米や野菜を供給しているほか、農産物や加工品を販売するマルシェ等の開催に取り組んでいる。また、地元産の農産物の取扱いを希望する店舗と生産者とのマッチングなども実施している。



農業祭での茨木産野菜販売 (中央公園グラウンド)



窓口申請ツール ※窓口料金と同額
(市役所本館 1階市民課窓口横)

行政手続きの利便性向上を

問

マイナンバー等を活用し、窓口における書類記入の負担を軽減する「書かない窓口」の早期実施について、市の見解は。また、引越時の煩雑な行政手続きを一本化する、ワンストップサービスの実施についてはどうか。

答

これまでから「行かなくてもいい市役所」を推進しており、マイナカードを利用するオンライン申請の実施や、窓口申請ツールの設置を行っている。今後、「書かない窓口」についても、手続き事例や適合するシステムの状況を確認していく。引越時のワンストップサービスは、費用対効果等も踏まえ、引き続き検討していく。

大阪維新の会



川口 元気 (質問者)

栗尾 憲 岩本 守

浅野 優子 長谷川 浩

田藤 ござえ

JR茨木駅西口再整備の進捗と今後は

問

JR茨木駅周辺整備について、引き続き権利者との協議を進めるとのことである。これまで市民ワークショップ等を実施し、一定の開発ビジョンが出ていたにもかかわらず、スピード感に欠ける進捗ではないか。具体的な進捗状況と、現状についての市の見解は。また、目標年度はいつか。

答

市民や利用者のニーズ等を踏まえ、令和7年4月に基本計画を策定・公表するとともに、協議会を開催し、市の考え方を示したところである。今後、基本計画を踏まえつつ、引き続き権利者の皆さまと協議・調整していく。検討の途中であり、現時点で具体的な目標年度を示すことはできない。

「モール」一方通行化の検討は

問

おにフルを中心としたJR茨木駅と阪急茨木市駅を結ぶ空間「モール」について、ひと中心の魅力的な空間の形成に取り組んでいくとのことである。「モール」における道路の一方通行化の検討について、現在の進捗状況はどうなっているか。

答

ひと中心の歩きやすく、歩きたくなる道路空間の再編に向けて、一方通行化は有効な手法であると認識しているが、課題も多く、長期的な検討を要する事業であることから、まずは、沿道事業者との対話や関係行政機関等との意見交換を始めている。

山間部の移動手段の検討について

問

かみおとわ やすもと いすはら ぜにほら
上音羽・安元・泉原・銭原の4地区で、市民が主導し、市がサポートする形で、乗合タクシー等、新しい公共交通の形を模索する社会実験が開始されている。今はまだ試行段階ではあるが、現状での課題は。また、他地区との情報共有も含めた、今後の具体的な取組みについてはどうか。

答

各地区にそれぞれ対応する移動需要の把握が課題である。



ダムパークいばきた多目的運動広場イメージ

り、そのための丁寧な意見交換が必要と考えている。地区ごとの取組状況は適宜共有しており、地区間の連携の可能性も探りながら、引き続き地域の皆さまと検討を進めていく。

スポーツ施設の整備について

問

ダムパークいばきたの湖畔ゾーンにサッカー競技等の公式規格を満たした多目的運動広場の整備を進めるとのことであり、本市のスポーツ推進に大きな効果が期待できると考える。市民からは、他にも野球場や武道館等のスポーツ施設を要望する声があるが、市の考えは。

答 野球場や武道館等のスポーツ施設の整備について、それぞれのご要望があることは認識しているが、本市のスポーツ環境を整える上での効果や財政負担などを考慮し、引き続き、研究・検討していく。

小児救急への対応は

問 子を持つ親にとって、子どもの急な体調不良は大きな問題であり、土・日・祝日の小児夜間診療のニーズの高さは市も把握しているものと考えます。小児救急への対応について、市の見解は。また、今後の具体的な対策についてはどうか。

答 小児救急医療については、中等症（生命の危険はないが、入院を要するもの）から重症（生命の危険の可能性があるが、心停止等の切迫した状態ではないもの）の患者を受け入れる小児二次救急の365日実施を市内で確保する必要があると認識しています。

里山保全の今後の拠点は

問 里山が有する多面的な機能の維持および保全には、地域の方々の連携が必須であると考えます。本市の里山センターは、

著しい老朽化のため令和8年3月をもって閉鎖されることになっているが、里山センターにかわる今後の拠点・居場所づくりについて、市の見解は。

答 当面の間は、旧北辰幼稚園に整備した仮拠点を中心に、引き続き、森林環境の保全に努めていく。あわせて、ダムパークいばきたオープン後の人流や社会情勢等を見極め、いばきた全体の活性化に資する施設の配置について検討していく。

いばらき未来の会



西本 睦子（質問者）
仁木 和芳 櫻井 淳貴
安孫子 浩子

公園利活用の課題と今後の展望は

問 地域住民や事業者などと連携し、公園の利活用を促進する「みんな育てる公園プロジェクト」の仕組みづくりに取り組んでいくとのことである。これまでの取り組みで得た課題と今後の方向性は。



みんなの公園アイデア&やってみるワークショップ（令和6年12月実施）

答 モデル公園における取り組みは好評を得たが、さらに展開していくために、情報発信や環境整備が必要と考えている。今後さまざまな公園において、多様な主体による利活用が促進されるような仕組みづくりに取り組んでいく。

地域と連携した相談支援体制とは

問 「茨木版ネウボラ（※1）」について、安心して子育てできる環境の整備のため、地域と連携した切れ目ない相談支援体制の充実に取り組むとのことである。どのような相談支援体制をつくり、どのような形で地域と連携しようと考えているのか。

答 より身近な場所での相談体制を充実させるため、子育てに関する情報提供や相談等を行う利用者支援事業を地域子育て支援センターへ拡充し、地域住民の相談に対する情報提供、助言を行うとともに、必要に応じて、ごども支援センターや関係機関と連携した支援を行っていく。

「声の茨木市議会だより」のご案内

茨木市議会では、市民の皆さまに広く情報提供ができるよう、市議会だよりの音訳版「声の茨木市議会だより」を発行しています。ご利用を希望される方はお問い合わせください。

【問】市議会事務局総務課
(072-620-1670)

- ※ダイジー形式で収録されたCDを再生するためには、専用の再生機器が必要です。
- ※再生機器の購入の際に、重度視覚障害者は日常生活用具の給付として、補助制度を利用できる場合があります。
- ※補助制度の詳細は障害福祉課(072-620-1636)にお問い合わせください。



ダイジー図書再生機器（イメージ）

市議会
だより

(※1) ネウボラ：フィンランド語で「アドバイスする場所」という意味で、妊娠から出産、その後の子育てまでを切れ目なく支援する制度およびそのための地域拠点のこと。

小学校給食の取組みについて

問

小学校給食の無償化は、子育て世帯の負担軽減につながる重要な取組みであるが、食材の質の向上、地産地消のさらなる推進、食育の充実や調理環境の改善に向けた取組みについてはどうか。

答

国の動向を注視しつつ、食材の質を確保し、旬の食材や行事食、世界の料理などを献立に取り入れ、児童の食に対する興味・関心がより高まる取組みを進めていく。また、市内産の米や野菜等を積極的に取り入れ、調理現場とも連携し、環境改善を図りながら、引き続き安全でおいしい給食を提供していく。

市ホームページの課題と今後は

問

より使いやすいと、分かりやすい市ホームページにリニューアルすることだが、現在の市ホームページにおける課題は何か。また、課題を解消するに当たって想定しているコンセプトや具体的な仕様の方向性は。

答

前回のリニューアル以降、スマートフォンの普及や外国の方の利用が増えていることな

ど、閲覧の幅が広がってきており、時代やニーズの変化への対応が課題と認識している。今後、閲覧・操作性の向上やページ構成の見直し等により、誰もが使いやすいホームページとなるよう取り組んでいく。

自由民主党・絆



塚 理 (質問者)

永田 真樹 西野 貴治

福丸 孝之 上田 光夫

下野 巖

彩都東部地区整備の進捗は

問

彩都東部地区について、段階的に土地区画整備事業と企業立地を進め、多様な企業・業態の集積拠点の形成と、社会や地域の発展に資するまちづくりを推進していくとのことである。C区域(※2)と茨木箕面丘陵線の整備の進捗状況は。

答

令和3年に土地区画整理事業の認可を取得し、事業着手されたC区域は、6年に仮換地

指定を行い、8年度に工事が完了する予定である。また、茨木箕面丘陵線については、4車線化に向け、府とC区域の事業者が整備中で、11年春に工事が完了する予定である。



交通政策にビッグデータ活用は

問

渋滞ゼロを目指したまちづくりのため、国道171号西河原交差点および市道総持寺駅前線の早期完成、府道茨木寝屋川線整備に向けた用地取得並びに市道東宇野辺町交差点等の改良といった道路整備を進めていくとのことだが、本市の交通政策におけるビッグデータの活用については、どのように分析しているか。

答

交通におけるビッグデータについては、渋滞箇所や事故発生箇所等を把握できることから、今後、渋滞対策や安全対策にも有効活用できるよう、調査・研究していく。

大学・病院バスの活用は

問

公共交通の維持について、既存交通の利用促進に努めるとともに、山間部の移動手段確保に向け、引き続き地域の皆さまとともに取り組むとのことである。今後の規制緩和の動向を含め、大学や病院が運行しているバスを活用することについて、市の考えはどうか。



(※2) 彩都東部地区C区域: 彩都地区のうち、茨木市域側にある東部地区の中央西地区のこと。

彩都あけぼの一丁目、彩都もえぎ四丁目(令和8年1月1日現在。一部住居表示未実施区域あり。) 茨木箕面丘陵線はC区域を東西に横断する予定。

市議会のうごき	
1月	8日 議会広報委員会
	14日 幹事長会
	15日 議会運営委員会視察
	16日 (鳥取県鳥取市、岡山県津山市)
	19日 市街地整備対策特別委員会
	20日 市街地整備対策特別委員会
	21日 視察 (岡山県玉野市、岡山県岡山市)
21日 北部地域整備対策特別委員会	
26日 総務常任委員協議会	
2月	2日 幹事長会
	議会運営委員会
	6日 本会議 (初日)
	選考委員会
	9日 本会議 (最終日)
	選考委員会
	幹事長会
議会運営委員会	
議会広報委員会	
26日 幹事長会	
議会運営委員会	
正副委員長会	
3月	4日 本会議 (初日)
	6日 本会議 (2日目)
	9日 本会議 (3日目)
	10日 本会議 (4日目)
	11日 本会議 (5日目)
	12日 本会議 (6日目)
	13日 本会議 (7日目)
	17日 民生常任委員会
	建設常任委員会
	18日 民生常任委員会
	文教常任委員会
	19日 総務常任委員会
	総務常任委員協議会
23日 文教常任委員会	
26日 幹事長会	
議会運営委員会	
30日 本会議 (最終日)	
公共交通に係る特別委員会	

市議会
だより

問 休養とこころの健康づくり推進のため、大学と共同で、中学生に向けた睡眠健康教育プログラム作成に取り組むとのことである。今回、特に睡眠を目的とする理由は。また、どのような研究機関と取組みを行うのか。

答 国のガイドラインにより、市町村は健康づくりのため

答 大学や病院のバスの活用といった、人材不足等を背景とした既存輸送資源の活用は、公共交通を補完する手法の一つと捉えている。国の動向も注視しながら、公共交通への影響等も踏まえ、活用にあたっては慎重な検討が必要と考えている。



の睡眠・休養について普及啓発が求められているほか、慢性的な睡眠不足は、さまざまな精神的・身体的疾患の発症リスクを高めることから、睡眠習慣の改善を目的として、神戸大学との共同研究に取り組んでいく。

問 歴史的偉人である鎌足公と本市との関わりを取り上げてきたが、市内には阿武山古墳など、ゆかりのある史跡等もあることから、地域の特色ある歴史遺産として、引き続き魅力発信に取り組んでいく。

答 これまでから展示や講演会、シンポジウムなどを通じて、

問 歴史遺産の保存および魅力発信として、郡遺跡・倍賀遺跡から発見された木棺墓の保存処理や、キリシタン遺物史料館の展示設備等の充実に取り組むとのことである。一方で、藤原鎌足公が歴史的に本市と縁の深いことについて発信が少ないと感じるが、さらなる発信について市の考えは。

答 彩都地域は下井分署、山手台分署、北辰分署の管轄区域内であり、現行の消防力に対応可能であると考えているため、消防署の新設等の考えはないが、今後の彩都地域を含めたいばきたの地域状況を注視しながら、必要に応じた対応を行っていく。

問 消防救急体制の充実に向け、消防車両・資機材の計画的な整備や、大規模災害に対応するための訓練を行い、消防職員の災害対応力と消防団との協力・連携強化に取り組むとのことである。今後、さらに彩都地域の開発が進む中、彩都地域に新たに消防署を設置する考えはあるか。

答 彩都地域は下井分署、山手台分署、北辰分署の管轄区域内であり、現行の消防力に対応可能であると考えているため、消防署の新設等の考えはないが、今後の彩都地域を含めたいばきたの地域状況を注視しながら、必要に応じた対応を行っていく。

問 消防救急体制の充実に向け、消防車両・資機材の計画的な整備や、大規模災害に対応するための訓練を行い、消防職員の災害対応力と消防団との協力・連携強化に取り組むとのことである。今後、さらに彩都地域の開発が進む中、彩都地域に新たに消防署を設置する考えはあるか。

答 彩都地域は下井分署、山手台分署、北辰分署の管轄区域内であり、現行の消防力に対応可能であると考えているため、消防署の新設等の考えはないが、今後の彩都地域を含めたいばきたの地域状況を注視しながら、必要に応じた対応を行っていく。

第2回定例会 一般会計予算質疑



令和8年度一般会計予算に対する質疑を行いました。
主な質疑内容は次のとおりですが、誌面の都合上、質疑の一部しか掲載できません。詳しい内容は、市議会ホームページ等で公開予定の会議録をご覧ください。(5月下旬予定)

上記二次元コードから録画配信をご覧いただけます。

災害時の避難所運営支援について



大阪維新の会
浅野 優子



問 災害時における各地域の自主防災会との関わりについて、円滑な避難所運営の確保に向けて適切な支援を行うとのことだが、具体的な支援体制は。また、役割分担についてはどうか。

答 避難所運営は、コロナ禍以降、令和7年度までは職員3人であったが、8年度からは避難所の扉等にキーボックスの設置等を予定しており、2人に戻すことを検討している。また、市職員の主な役割としては、市災害対策本部との連絡調整や情報共有を担うとともに、救済物資の手配や供給などの運営支援を行うことを想定している。

介護従事者の実態把握と支援を



いばらき
未来の会
櫻井 淳貴



問 介護基盤の維持には、担い手である介護従事者の働く環境を的確に把握することが重要と考える。実態把握のために、こ

れまでの事業所連絡会との意見交換会や事業者調査に加え、従事者本人や教育機関など多様な主体から意見を聴く機会を設け、その結果を踏まえた支援策の検討に取り組むことについて、市の考えは。

答 令和7年度介護保険事業者調査の結果の分析を行うとともに、高齢者サービス事業所連絡会や大学など、さまざまな関係機関と連携しながら、介護従事者の実態把握等を含めた必要な支援について検討していく。

自転車駐車場の環境改善を



公明党
和田 美紀



問 阪急南茨木駅周辺の自転車駐車が混雑しているという声を聞いている。同駅は、モノ

ール利用などの利便性も高く、今後も自転車利用者は増えると予測される。また、阪急茨木市駅周辺の自転車駐車場は、通勤・通学以外に買い物や通院のために利用されている方も多く、終日混雑している。自転車駐車場の環境改善に向けた、市の見解と今後の対策は。
答 特定の自転車駐車場への利用集中を緩和するため、施設の改築、利用車種の変更等を

行っているが、混雑のさらなる緩和に向けて、料金の見直し等を検討していく。



南茨木駅前第2自転車駐車場(東奈良三丁目)

根本的な物価高騰対策を



一步の会
片岡 真



問 物価高の状況は現在も続いておりますが、本市でも令和5年度からさまざまな取組みを行っている。しかし、どの施策も一時的な対症療法にとどまっているのではないかと、目の前の困っている人を助けるという側面では非常に重要な施策だが、物価高騰対策に関しては、より根本的な対策を行う必要があると考えるが、市の見解は。

答 物価高騰の長期化等を取り巻く社会環境に対応するため、国・府も含め、これまでからさまざまな施策を講じてきている。今後、物価高騰の状況の変化を注視していく中で、その時々状況に応じて、効果的な施策を検討していく。



令和8年度茨木市プレミアム付商品券

若者のスポーツ参加促進を



問 茨木市スポーツ推進計画では、生涯スポーツの普及や市民のスポーツ参加の促進を掲げているが、BMXやパデル等のエアバンスポーツや、新しいスポーツに対する記載はほとんどない。若者のスポーツ参加を促すために

も、今後、計画の中に位置づけていくべきと考えるが、市の見解は。

答 スケートボードやBMX等のアーバンスポーツや新しい競技など、多様なスポーツについて市民ニーズを把握するとともに、スポーツをまちづくりに生かす視点も踏まえ、次期スポーツ推進計画を策定する中で検討・研究していく。



ペットとの避難所生活について

問 本市避難所運営マニュアルでは、避難所においてペットは原則、避難者とは別スペースでの飼育となっている。避難所生活が長期化した場合、別室飼育が難しくなるケースもあると思うが、避難所に飼育者専用区画等を設けることについて、市の考えは。

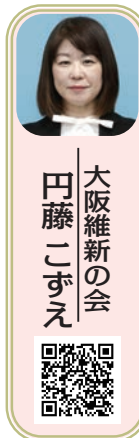
答 アレルギーをお持ちの方などへの配慮は不可欠であり、ペットの飼育スペースは基本的に離れた場所への設置としており、平時から必要性への理解を得ることが重要と考える。一方、避難生活の長期化が見込まれる場合は、飼育環境の確保も必要と考える。

ることから、施設の構造や管理上の制約等を踏まえた上で、他市の事例も参考に、対応について検討していく。



問 個人で事業を始める方向に向けて、市独自で創業促進事業補助を行っているが、利用が最も多い補助は何か。個人の起業に対して公費で支援を行っている以上、市民のためになっているのかの確認は必要だと考えるが、市は開業後のフォローアップをしているのか。

創業支援とフォローアップは



公共交通に係る特別委員会を設置しました

昨今の社会情勢の中、市内におけるバスの廃線や減便など、公共交通の状況が切実な課題となっています。こうした状況を踏まえ、市議会で協議を重ね、令和8年2月臨時会で「公共交通に係る特別委員会」を全議員の賛成により設置しました。(2月臨時会採決状況は14ページを参照)

現在は、下記の3つの特別委員会を常設し、各部門ごとに調査しています。

委員会名	所管事項
公共交通に係る特別委員会	公共交通に係る問題
北部地域整備対策特別委員会	彩都（国際文化公園都市）に係る問題、安威川ダム周辺整備に係る問題、その他北部地域の整備に係る問題
市街地整備対策特別委員会	駅前整備に係る問題、大規模市街地開発に係る問題

次頁へつづく

市議会
だより

前頁つづき

答 テナント賃借料に対する補助の利用が最も多い。開業後のフォローアップについては、令和7年度から中小企業アドバイザーとともに5年度以降の補助金利用事業者を訪問し、状況確認を行っている。8年度は訪問を継続するとともに、創業後の事業者同士の交流の場を創出する予定である。



一步の会
佐藤 恵

市の公式LINEの導入は

問 本市では、インスタグラムやいばライフ等で情報を発

信しているが、市民が各媒体を把握し、用途に応じて活用することは容易ではない。この課題は、LINEにある機能を利用することで解消できると考える。市民と市の各媒体をつなぐ役割を担うものとして、市の公式LINEを導入してはと考えるがどうか。

答 さまざまなICTサービスが進展する中で、公式LINEも含めた民間サービスや国・府が整備する環境など、その時々が必要となる情報発信の媒体を選択し、活用することは重要であると捉えている。今後も、他市の事例等について情報収集を行いつつ、最適な媒体について研究・検討していく。

会派に所属しない議員
山下 慶喜

ダブル選における事務執行は

問 2月の総選挙は、解散から投票日まで戦後最短となった。加えて、大阪は知事選とのダブル選となり、短期間で膨大な選挙事務を行うこととなったが、本市選挙管理委員会職員の残業時間はどの程度あったか。各マスコミ

令和7年度補正予算を可決

令和7年度3月補正予算を可決しました。
なお、採決状況については、13ページの3月定例会議決結果をご参照ください。

会計区分	補正予算額 (千円)	予算総額 (千円)
一般会計補正予算 (第8号)	3,703,837	119,508,194
財産区特別会計補正予算 (第1号)	21,817	5,329,906
国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号)	496,805	25,136,884
後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (第1号)	218,664	5,820,404
介護保険事業特別会計補正予算 (第1号)	▲263,500	24,267,721
下水道等事業会計補正予算 (第2号)	▲578,290	9,865,740
水道事業会計補正予算 (第1号)	▲26,824	9,351,985

が批判、3市長が抗議する事態にもなった今回の選挙についての見解は。府知事へ抗議すべきだったと思うがどうか。

答 選挙管理委員会本部職員4人の1月10日から2月10日

までの時間外勤務時間は、平均約210時間であった。選挙管理委員会としては、適正で円滑な選挙事務の執行が重要であると考えられており、今回の選挙においても準備から開票に至るまで、関係者が一丸となり事務を執行した。

自由民主党・絆
福丸 孝之

居場所づくりの窓口設置を

問 民間運営の不登校児童・生徒の居場所に対し、人的および金銭的な支援を行う予定はないとのことである。当事者の保護者がやむを得ず立ち上げ、運営されている場合もあり、せめて、立ち上げの際に相談できる窓口を教

問

東西軸ストリートデザイン
ガイドラインでは、将来像

東西軸の全体的な将来像の
見える化を



大阪維新の会
長谷川 浩




答 現在は、専用の相談窓口は設けていないが、不登校の子どもたちのために居場所の立ち上げを考えている方が希望される場合には、教育委員会で内容を伺いたいと考えている。伺った内容については、市長部局とも共有するなど、連携を進めていきたい。



中央通り（JR 茨木駅前商店街前側道）

答 今後、ガイドラインに示すロードマップに沿って将来像の具現化を目指していくが、中長期的な検討を要する事業であり、段階的かつ丁寧に進める必要がある。まずはさまざまな関係者との意見交換を進めつつ、これまでの社会実験のプロセスを踏まえて、本線部再編の考え方や工程を整理し、先行空間の検討等を進めていく。

として部分的なイメージは示しているが、全体が見えにくい。沿道事業者や市民との共通理解を得るためには、道路や設備等ハード面の整備構想や、空間デザイン等ソフト面の考え方を見える化した上で、完成までのスケジュールを示すことが重要と考えるが、市の見解は。

令和 8 年度当初予算を可決

令和 8 年度当初予算を可決しました。各会計別予算額は下表のとおりです。

なお、採決状況については、13 ページの 3 月定例会議決結果をご参照ください。

会計区分	令和 8 年度 予算額 (千円)	令和 7 年度 当初予算額 (千円)	増減率 (%)
一般会計	114,880,000	110,220,000	4.2
特別会計	62,400,003	60,081,129	3.9
特別会計内訳			
財産区会計	5,241,760	5,308,089	▲ 1.2
国民健康保険事業会計	25,080,657	24,640,079	1.8
後期高齢者医療事業会計	6,483,447	5,601,740	15.7
介護保険事業会計	25,594,139	24,531,221	4.3
下水道等事業会計	9,967,255	10,401,170	▲ 4.2
水道事業会計	10,273,913	9,378,809	9.5
総計	197,521,171	190,081,108	—

市議会
だより

問

学校の健康診断は、こどもの健康状態の確認だけでなく、虐待の早期発見等の点からも極めて重要とされている。本市の小・中学校における未受診者の約

不登校児童・生徒の健康診断は



公明党
青木 順子



答 全ての児童・生徒の健康保持および増進のため、受診機会の確保に向け、令和 7 年度から茨木市学校保健会で専門部会を開催している。引き続き、学校、学校医、学校歯科医と連携して今後の対応を検討していく。

半数が不登校によるものとのことだが、健診の重要性を鑑み、受診機会の確保や費用の助成についての取組みを進めるべきと考えるがどうか。

3月定例会議決結果

(○：賛成、×：反対)

件名	大阪維新の会					自由民主党・絆					公明党			いばらの会			一步の会		会派に所属しない議員			結果							
	栗尾憲	岩本守	浅野優子	長谷川浩	川口元気	円藤さずえ	永田真樹	西野貴治	福丸孝之	塚理	上田光夫	下野巖	北原正	和田美紀	青木順子	大村卓司	仁木和芳	櫻井淳貴	西本睦子	安孫子浩子	片岡真		佐藤恵	米川勝利	森本麗子	大嶺さやか	辰見直子	山下慶喜	
その他	動産取得の変更について（消防ポンプ自動車）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	請負契約締結について（中央保育所移転新築建築主体工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	請負契約締結について（中央保育所移転新築電気設備工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和7年度補正予算	令和7年度大阪府茨木市一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和7年度大阪府茨木市財産区特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和7年度大阪府茨木市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和7年度大阪府茨木市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度大阪府茨木市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度大阪府茨木市下水道等事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度大阪府茨木市水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度当初予算	令和8年度大阪府茨木市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和8年度大阪府茨木市財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和8年度大阪府茨木市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和8年度大阪府茨木市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和8年度大阪府茨木市介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和8年度大阪府茨木市下水道等事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和8年度大阪府茨木市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出	茨木市議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	茨木市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

◆議長（公明党：松本 泰典 議員）は採決に加わりません。

◆3月定例会の議案内容については、市役所南館1階情報ルームに設置している資料をご覧ください。
 なお、3月定例会市長提出案件の概要については、市議会ホームページをご覧ください。

可決された意見書(3月定例会)

3月定例会で可決された意見書を関係機関に送付しました。

◎太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書



請願(3月定例会)

3月定例会に提出された請願は文教常任委員会の審査を経て、3月30日の最終本会議で採決の結果、次のとおり決定しました。

- ◆請願第1号 小・中学校の女子トイレ、公共施設への生理用品の設置を求めることについて 【不採択】
- ◆請願第2号 合葬式墓地の早期実現と時勢に合わない市営墓地条例の改正を求めることについて 【不採択】

2月臨時会議決結果

令和8年第1回臨時会を2月6日、9日の2日間開催しました。

この臨時会では、正副議長をはじめ、議会運営委員会委員、各特別委員会委員などの議会役員の選任を行いました。また、市長から提出された議案、並びに議員から提出された議案を審議しました。(令和8年4月1日現在の議会構成および会派構成は15ページに掲載)

(○：賛成、×：反対、除：除斥)

件名	会派・議員名															結果															
	大阪維新の会					自由民主党・絆					公明党			いばらき未来の会			一步の会	会派に所属しない議員													
	栗尾憲	岩本守	浅野優子	長谷川浩	川口元気	円藤しづえ	永田真樹	西野貴治	福丸孝之	塚理	上田光夫	下野巖	北原正	和田美紀	松本泰典	青木順子	大村卓司	仁木和芳	櫻井淳貴	西本睦子	安孫子浩子	片岡真	佐藤恵	米川勝利	森本麗子	大嶺さやか	辰見直子	山下慶喜			
議員提出	議会運営委員会の委員定数の変更について	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
	特別委員会の委員定数の変更について	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
その他	公共交通に係る特別委員会の設置について	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
	専決処分につき承認を求めることについて(令和7年度大阪府茨木市一般会計補正予算(第6号))	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認		
人事案件	人権擁護委員推薦につき意見を求めることについて【橋本かほる氏】	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	答申(適任)	
	茨木市監査委員選任につき同意を求めることについて【定兼徹氏】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
	茨木市監査委員選任につき同意を求めることについて【西本睦子氏】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	茨木市監査委員選任につき同意を求めることについて【永田真樹氏】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
補正予算	令和7年度大阪府茨木市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

※議長は採決に加わりません。(2月臨時会の会期中に、議長が福丸孝之議員から松本泰典議員に代わっています。)

茨木市議会 公式インスタグラムアカウント



ibarakishigikai

茨木市議会のアカウント
<https://www.instagram.com/ibarakishigikai/>



IBARAKISHIGIKAI

議会構成

(令和8年4月1日現在)

議長

松本 泰典

副議長

岩本 守

総務常任委員会

委員長
副委員長
委員

下野 卓司
大村 憲
栗尾 守
岩本 直子
辰見 之
福丸 孝
櫻井 淳貴

文教常任委員会

委員長
副委員長
委員

上田 光夫
長谷川 真浩
片岡 貴治
西野 睦子
山下 睦子
山本 慶喜
松本 泰典

民生常任委員会

委員長
副委員長
委員

青木 順子
安孫子 浩子
浅野 優子
森本 麗子
大嶺 さやか
和田 美紀
塚和 理

建設常任委員会

委員長
副委員長
委員

円藤 こずえ
永田 真樹
佐藤 恵
米川 勝利
川口 元正
北原 芳
仁木 和

議会運営委員会

委員長
副委員長
委員

青木 順子
円藤 こずえ
栗尾 真樹
片岡 睦子
西本 睦子
塚野 理

北部地域整備対策特別委員会

委員長
副委員長
委員

塚口 元氣
川口 憲
栗尾 恵
佐藤 芳
仁村 卓
大野 巖

市街地整備対策特別委員会

委員長
副委員長
委員

円藤 こずえ
上田 光夫
浅野 優子
片岡 真樹
永田 真樹
和田 美紀
櫻井 淳貴

公共交通に係る特別委員会

委員長
副委員長
委員

青木 順子
福丸 孝之
浅野 優子
米川 勝利
長谷川 浩
西野 貴治
西本 睦子

議会広報委員会

委員長
副委員長
委員

大村 卓司
川口 元氣
栗尾 憲
佐藤 恵
西野 治
仁木 芳
上田 光夫

茨木市監査委員

西本 睦子
永田 真樹

淀川右岸水防事務組合協議会議員

米川 勝利

大阪府都市ポートレース企業団
協議会議員

長谷川 浩 (令和8年6月まで)

茨木市都市計画審議会委員

岩本 守
片岡 真樹
栗尾 憲
大嶺 さやか
北原 正
塚和 理
上田 光夫

茨木市土地開発公社理事

辰見 直子
西野 貴治
円藤 こずえ
佐藤 恵
和田 美紀
安孫子 浩子

茨木市青少年問題協議会委員

上田 光夫
長谷川 浩

茨木市空家等対策協議会委員

円藤 こずえ
永田 真樹

大阪広域水道企業団協議会議員

松本 泰典 (令和8年6月末まで)

会派構成

(◎は各会派の幹事長)

大阪維新の会

◎長谷川 浩
岩本 守
川口 元氣
栗尾 憲
浅野 優子
円藤 こずえ

自由民主党・絆

◎永田 真樹
福丸 孝之
上田 光夫
西野 貴治
塚野 巖

公明党

◎大村 卓司
和田 美紀
青木 順子
北原 泰典

いばらき未来の会

◎櫻井 淳貴
西本 睦子
仁木 和芳
安孫子 浩子

一步の会

◎米川 勝利
佐藤 恵
片岡 真

会派に所属しない議員

森本 麗子
辰見 直子
大嶺 さやか
山下 慶喜